

## わが家のすこやか日記

僕は、高校3年間寮で生活していたため、家族とはあまり会っていません。日々野球の練習で連絡もとれず、心配をかけました。でも、野球が3年間で終わり、引退して家に1カ月帰省しました。久しぶりに長い期間家にいました。家族の顔も久しぶりで、なんだか少し恥ずかしい感じがしました。でも、これが家族なんだと強く感じました。これから先、親は年をとり、自分らは成人になっていき、ここまで育ててくれた親に感謝の気持ちでいっぱいです。家族という宝物を一生大事にしていこうと思います。これがこの夏僕が感じたすこやかな事です。

〔補足説明〕

出身は大阪で、高校は自分のわがままを聞いてくれて岡山に出させてくれた。

岡山学芸館高等学校 第二学年 小田切 章さん

## お母さん

私は吹奏楽部に入っています。そのため、朝も早く、帰りも八時は絶対まわります。忙しい今は、十時過ぎが当たり前になってしまっています。

そんな私を支えてくれているのは、やっぱり「家族」です。特にお母さんには本当に感謝しています。

朝、七時に家を出る私のために、とても早く起きてお弁当を作ってくれます。夜は、家から最寄りの駅が遠いため、お母さんが迎えに来てくれます。お母さんは十時が過ぎても、笑顔で私の話を聞いてくれます。

一番うれしかったのは、私が晚ごはんを一人きりにならないように、どれだけ遅くても食べずに待っていてくれた事です。さらに弟が遅い時は、弟を待っています。

私は、毎日私達のためにどんなことも笑顔でこなす母をとても尊敬しています。

岡山学芸館高等学校 第二学年 木村 綾花さん